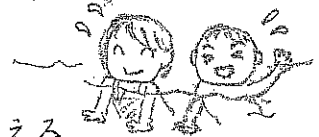


# かせぐみ プール遊び

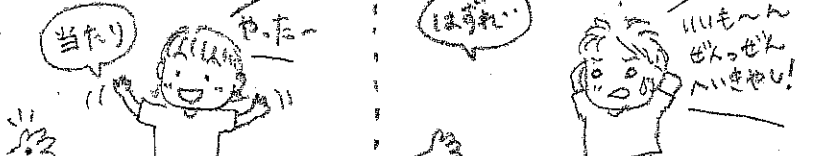
5日(月)よりプール遊びが始まりました。かせ組になると水着を着るので、子どもたちはそれも喜んでいました。そしてみず組の時に入っていたプールよりも大きなプールに入ります。水着に着替え、屋上へ行くと水がたっぷり入ったプールを見て、「みず、いっぱいやなあ」「はやくはいりたい～」とワクワクしている子どもや、大きいプールに「ちよとこわいな」と不安な表情を見せる子どももいました。静かに足をつけ、水の中に入ると「つめたい～」と言いつつも走り出し、水しぶきをあげて楽しめます。友だちや保育者に「みてね」と、水に顔をのける姿や、うつ伏せになり顔だけ出して進むワニ泳ぎ等色々な楽しみ方をしています。顔に水がかかると苦手な子どもはプールの縁に立ってみんなが遊んでいる様子を見たり、ワニ泳ぎをしている保育者の背中に乗ることを楽しんで、一人一人が自分のペースでプール遊びを楽しむことが目標です。もっと楽しめるようになったら身共に開放感を味わえれおと思います。



気持ちの壁を乗り越える

先月のクラスだよりに「心の揺れ」について書きましたが、子どもたちは日々繰り返し経験しています。先日、昼寝前に保育者の左右どちらかの手にオモチャがかけられており、それを当てるゲームをしました。どちらの手の中にあるかは子どもたちはわかりません。当てられるかどうか、心配な表情、ドキドキした表情を見せています。いざ選んで当たった子どもはホッとしてとたんに笑顔になります。逆に当てられなかった子どもは... 何ともいえぬ様々な表情を見せたり、苦笑いする子ども、当てられなかつたよしさから泣き出す子どももいます。

「思い通りにならなかった」ことで気持ちに壁がでます。これがとても大切な経験だと感じます。どうすればいいかわからず、「もうやらへん!」と言うこともあります。泣いて怒りを保育者にぶつける時もあります。ところが何度も繰り返していくうちに少しずつ自分で考えるようになってきます。当てられなかつた時、「またしてな」「あしたもする」と次は当てよう!と気持ちを立て直す言葉が出るようになります。気持ちの揺れ(壁)を受け止め乗り越えようとする子どもたちの思いが素敵だなあと感じるひと時でした。これから先保育園でもおうちでもたくさんの壁を乗り越えてほしいです。



# 7がっ クラスだより

2024.7.29 円町ふたね保育園

梅雨が明け、賑やかな夏の鳴き声とともに夏本番がやってきました。プールあそびも始まり、心も身体も開放的に遊ぶ子どもたちです。泥んこあそび、いっぱい食べて、休息や水分補給も大切にしながら熱中症や感染症の予防に気を付け、暑い夏を元気に過ごしていきたいと思ひます。

## そらぐみ

プールあそび 7月に入り、楽しみにしていたプールが始まりました。「あたらしいみずぎ、かてもらった」「ぼうしひとりぞかぶれるぞ」と子どもたちの表情からわくわくが伝わっていました。体操は忍者体操、ラーメン体操、昆虫太極拳が人気で「もう一曲したい!」となかなかプールに行けない程です。プールでは顔を付けて泳ぐと浮いたり、ワニ泳ぎをしたり... 水が苦手な子どもは、初めこそプールの淵を持って様子を見ていましたが、みんなの楽しそうな様子に少しずつあそびも大胆さを増してきました。

「洗濯機」という水の中を同じ方向にみんなが水流を作るあそび、「おおきなかぶ」のお話から、プールの淵につかまってカブになた子どもを他の子がひっぱり抜くというあそび、水中に全部入ってしまう大きなフープをもぐり、ぐるぐる回ることや、高い位置のフープをイルカのようにジャンプしてぐるぐる回ることを楽しんでいます。又、とび込み台から忍者やカエル、ちよちよ等ポーズを自由に考えてとび込むあそびでは、できるできないの意識を越えて、友だちのとび方を「それ面白い!」と認め合いながら楽しんでいます。夏は体力を消耗しやすく、特にプールでは思わぬ事故につながる恐れがあります。睡眠時間については、その大切さを朝の集まりの中で、子どもたちにくり返し伝えています。プールの後はほっと落ち着ける時間をとったり、午睡でもしっかり身体を休めることができるようにしています。おうちでも合わせて早寝、早起きの習慣をつけて頂き、元気に過ごしたいと思ひます。

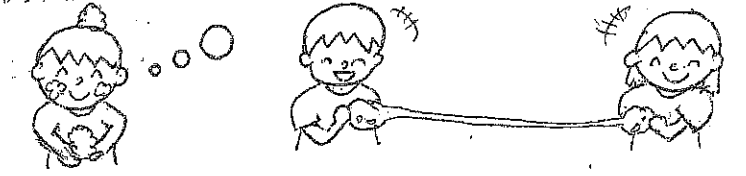


スイカが大きくなりました。みんなが夏前から毎日水やりをし、育ててきたスイカが、直径20cmくらいまで大きくなりました。クラス対策でネットをして毎日「まだかな」「あまいかな」と様子を見ています。なんといっても今回は実が1つだけ... 大事に大事にして、収穫してスイカ割りができる日を待ちわびています。

# たいようぐみ

① ちよちよになつたよ  
育てていた青虫が羽化してちよちよになりました。育て始めた時は、青虫と青虫の前段階である黒い幼虫が1匹ずつと卵が1つありました。図鑑などでそれぞれの成長段階と照らし合わせながら成長を楽しみにしていた子どもたちです。卵からかえった後、黒い幼虫は残念なから死んでしまいましたが、残る2匹は無事に羽化し、ペラペラや図鑑から逃がしてあげることが出来ました。羽化するタイミングは(図鑑)の通りで、どちのちよちよも週末に羽化したようで、(図鑑)の通りに登る。「ちよちよになつてるぞ!」「ササギの抜け殻もあるぞ!」と嬉しそうです。虫カゴ内を元気に飛びまわったり、下で休んでいるのを見て「早くお外に行きたいって言ってるちよちよ?」「ちよと元気がいい!」「はかしてあげるとせよこに行き前に逃がしてあげよう!」といつも虫を触るのも苦手な子どもも、ちよちよの羽化を羨し持ち、逃がす姿がありました。「元気でね!」「かぶってこんでね!」「てきにたばこたばこあかして!」「はいはい!」と見送っていました。

② 気持ちいいね。○ 感触あそび  
7月に入り、プールあそびの前にスライムあそびや泡あそび、露天あそび、色あそびなど様々な感触あそびを楽しんでいます。特にスライムあそびでは、その組の時から何回かしているのが、今まで一番伸びるスライムが出来て大興奮の子どもたちでした。各グループに1つの箱で、それぞれ同じグループの友だちと感触あそびをしてみながら作り、まとまってきたら「少スポ」を入れ、こねていきます。「もちもちしてよー!」「とうけいのときやにみたいにひろげてみよかよ!」「こねたにうすくまのいせにー!」と箱の上で伸ばしたり、友だちと引っ張り合ったりして伸びるかやってみたり、糸を引くようにどんどん伸びていくスライムを長い時間楽しんでいました。夏ならではの遊びや経験を取り入れながら、思いきり楽しみたいと思ひます。



③ お当番活動 がんばっています!  
毎日1人ずつ専任のお掃除やお祈りなどの当番活動に力を入れて、グループで「水やり」「お昼寝のこさを教く」「雑巾がけ」「絵本整理」の役割をそれぞれ日替わりで回しています。たいよう組には遊戯して「やてあげたい」「お手紙いっていい」という気持ちやより一層感じられます。「今日はぞうまんや! よし!」「水やりかやばる! おいもあまくなるかな?」とやる気満々な子どもや、「ごきのお当番もやていい?」と自主的な子どももいます。「○○ちゃん、○○くんもいっしょのグループやしてはやくいっしょにやろ!」と声をかけ合う場面もあります。達成感を感じながら、みんなの為に頑張ることの出来る姿を大切に、意欲へとつなげていきたいです。